

外部評価結果及び反映状況等について

課題名 果樹栽培に係る省力化技術の普及

**評価結果：B（概ね良好）**

**【評価すべき点】**

- ・成果目標は、数字上は達成している。
- ・省力化による労力低減効果がでている。
- ・講習会や巡回指導を通じて実証事例等を情報提供し、技術の周知・普及が進められている。
- ・若手やUターン農家でも取り組みやすい技術を推進するため、オピニオンリーダーから活動対象とし段階的に普及を図っている。
- ・生産部会や試験研究、農協と連携した活動体制になっている。

**【改善すべき点】**

- ・目標値の設定や変更にあたっては、明確な理由をもって行なうこと。
- ・労働時間や省力化の効果等について、アンケート等を行って数値によるデータを把握・分析すること。
- ・農協の広報誌やその他の媒体を用いて情報発信を行い、多様な経営体への早期の技術導入を図ること。

**【その他（意見・要望等）】**

- ・ブドウの改造平行整枝技術は、収穫後から剪定前にまでに情報発信を行うとよい。

**評価に対する改善策等**

**【改善すべき点】**

- ・目標値の設定及び変更にあたっては、生産者等への聞き取り等により事前の調査を行ってきましたが、今後は状況の変化を的確にとらえ、明確な理由をもって数値の設定及び変更を行います。
- ・普及指導活動における効果等については、数値により把握・分析できるようにアンケート等の手法を活用し、実績を取りまとめる際は数値化を図っていきます。
- ・情報発信については、これまで当所の広報誌等を活用していますが、今後は関係機関との連携を図りながら、様々な媒体を用いて行い、多様な経営体への早期の技術情報伝達を行います。

**【その他（意見・要望等）】**

- ・ブドウの改造平行整枝技術は、関係機関と協力して年間数回開催する講習会及び役員会等の機会を活用し情報発信を行っています。今後は、特に収穫後から剪定前の機会においてより多くの情報発信に努めます。

**次年度以降の普及指導計画への反映状況（又は反映予定）**

当該普及指導計画は令和元年度で終了しますが、引き続き一般普及指導課題として情報発信に努めます。また、新規計画作成の際は改善策を取り入れて、今後の普及指導活動を進めていきます。

外部評価結果及び反映状況等について

課題名 土地利用型作物の品質向上

**評価結果：A（良好）**

**【評価すべき点】**

- ・米及び小麦についての成果目標は、達成している。
- ・米は良食味基準値設定や栽培ごよみの作成・配付を行い、講習会や巡回指導等により技術の普及が図られている。
- ・作付面積や品質基準のクリア割合等のデータを収集し、活動成果を把握・分析している。
- ・米及び小麦は栽培上の新たな課題も把握し、その対策も検討している。
- ・生産者ニーズを的確に把握し、調査や巡回指導等を計画的に行っている。
- ・生産者組織、農協及び研究等と連携して取り組みの推進が図られている。
- ・米食味ランキングで特Aの獲得や小麦のパンコンテスト3位入賞等の第三者による評価結果をPRしている。

**【改善すべき点】**

- ・米や小麦、裸麦を導入したことによる経営全体の効果をシミュレーションし、把握すること。

**【その他（意見・要望等）】**

- ・米のブランド化のために良食味米基準値を高く設定するとよい。
- ・米の生産者ごとの生産量のばらつきを改善するために、技術の底上げや系統出荷の増加のための取り組みを期待する。
- ・米は学校給食等での需要が増える中、倒伏などの課題を解決し、安定的に収量が確保できる生産技術の確立と普及を期待する。
- ・パン用小麦のマーケティングに普及の関わりを期待する。

**評価に対する改善策等**

**【改善すべき点】**

- ・はるみや麦類の導入による経済性を調べ、経営規模別にシミュレーションすることで、経営に及ぼした効果を検証します。

**【その他（意見・要望等）】**

- ・良食味基準値は、収量・品質のバランス、地域性、良食味計測定データを考慮し、設定を行っていきます。
- ・農協との連携により講習会や現地巡回を効果的に実施していくことで、生産技術の向上による増収を図り、少しでも多く学校給食米として流通している系統出荷につなげられるよう指導を行っていきます。
- ・研究部門との連携によりこれまでも栽培上の課題に対応していますが、さらに安定的な生産技術の確立のため現地展示ほ等を活用して実証し普及を図ります。

- ・実需者からの情報収集に努め、引き続き、県産麦生産振興対策研究会、米麦改良協会、小麦産地の農協等との連携を図ることにより、ひとつでも多くの契約栽培が締結できるよう活動していきます。

**次年度以降の普及指導計画への反映状況（又は反映予定）**

当該普及指導課題は令和元年度で終了しますが、引き続き一般普及指導課題として改善策について生産者や農協等関係機関と連携しながら取り組んでいきます。

外部評価結果及び反映状況等について

課題名 統合環境制御による施設トマトの高品質・安定生産技術の導入

**評価結果：A（良好）**

**【評価すべき点】**

- ・成果目標は達成している。
- ・意識調査により生産者ニーズの把握・分析を行い、多様な経営体に対応した技術の普及を図っている。
- ・スマート農業普及推進研究会を設置し、生産者や関係機関と連携して取り組みの検討・推進を図っている。
- ・具体的な数字を盛り込んだ技術資料を作成・配付し情報提供が行われている。

**【改善すべき点】**

- ・費用対効果を考慮した技術の導入・普及を行うこと。
- ・先進的農家への技術の導入は図られているが、今後はそれ以外の農家への普及を図る取り組みを行なうこと。

**【その他（意見・要望等）】**

- ・スマート農業は投資を必要とするため過剰投資とならないような指導を期待する。
- ・ICT技術を理解しにくい高齢者等の生産者への対応も検討するとよい。
- ・メーカー等と連携して小規模ハウスに導入しやすいシステムの検討を期待する。
- ・現地実証事例の共有化や、それらデータを活用したPR活動を期待する。

**評価に対する改善策等**

**【改善すべき点】**

- ・費用対効果については、作成した啓発資料の活用により適切な情報提供を進めます。
- ・先進的農家以外への普及については、施設の規模に適した費用対効果を考慮し、茎ゲージを用いた生育診断等の簡易な技術から導入を進め、省力化や生産性向上につながるICT技術を段階的に導入するよう図ります。

**【その他（意見・要望等）】**

- ・施設・装置の導入に際しては、その必要性を十分に意識し、過剰投資とならないよう効果に対する目標を持てるよう指導を行っていきます。
- ・技術の普及に際しては、高齢者も理解しやすいよう、文字を大きくし、平易な表現を心掛けるとともに、イラストや図表を利用する等、分かりやすく表現するよう工夫した活動に努めます。
- ・機械や装置について、メーカーの開発に現地で利用する生産者の声が活かせるよう、これからも現地での課題について情報を共有します。

- ・活用場面を意識した現地実証、事例収集を進め、講習会や巡回指導を通じて、現地実証事例の共有化や、それらデータを活用した波及効果が高まるよう活動を進めます。

**次年度以降の普及指導計画への反映状況（又は反映予定）**

当該普及指導課題は、令和2年度が最終年となりますが、今年度実施予定のアンケートによる生産者の意識調査により、これまでの活動の効果判定を行うとともに、評価内容を取り入れて今後の普及指導計画に反映していきます。

## 外部評価結果及び反映状況等について

課題名 新規就農者等の育成

**評価結果：A（良好）****【評価すべき点】**

- ・成果目標は概ね達成している。
- ・活動成果を客観的な数値により把握している。
- ・受講者が自己評価しやすいようにチェックリストの補助簿を作成し、理解度把握に努めている。
- ・受講者同士の交流により農業機械の共同化や販売の連携など波及効果が見られる。

**【改善すべき点】**

- ・基礎セミナー生の自己評価を受講年数ごとに把握・分析すること。
- ・多様な新規就農者に対応するため、経営的な指標だけでなく農業経営に対する意識やモチベーション等の経営以外の指標も把握すること。
- ・市・農協などの関係機関と農業次世代人材投資資金受給者以外の農業者の情報も共有し、連携を強化すること。
- ・地域での認知度を上げるため、広報誌等への掲載でPR活動を行うこと。

**【その他（意見・要望）】**

- ・コミュニケーション能力を向上させるため、地域の農業者が直接指導する等の交流する機会を設けるとよい。
- ・基礎セミナーの対象者をさらに広げ充実させ、修了生が増える中で、トップ経営体育成対象者の増加を期待する。
- ・人・農地プラン作成を進めながら地域全体で新規就農者を支援する機運を盛り上げることを期待する。

**評価に対する改善策等****【改善すべき点】**

- ・基礎セミナー生の自己評価をこれまでも受講年数ごとに把握していますが、引き続き把握するとともに分析した内容をセミナーの運営に活用していきます。
- ・農業経営に対する意識やモチベーション等の経営以外の内容については、巡回指導等を通じて把握し、指標として示せるよう検討し、多様な経営体に対応できるようにしていきます。
- ・今年、10月31日に当所主催で、担い手連絡会を開催し、市、農協及び県の普及部門（当所普及指導課、普及指導部、足柄地区事務所、畜産技術センター）の関係機関で、具体的な担い手の支援状況や、担い手の情報交換を行いました。また、この連絡会を受けて相模原市農政課主催でも実施する予定となっており、さらに連携強化を図っていきます。今後も、こうした取り組みに参画していきます。

- ・ これまでも農協の広報誌などで記事を掲載していますので、これらを活用して情報発信を行っていきます。

**【その他（意見・要望）】**

- ・ 農業基礎セミナーやステップアップセミナーなどで、地域の農業者にも参加してもらい機会を通じて、コミュニケーションが図られるよう努めていきます。
- ・ 農業基礎セミナーの事業内容を工夫するとともに、各関係機関と情報交換し、意欲ある農業者の把握を行い、対象者の確保に努めます。
- ・ 相模原市などと連携し、新規就農者が求めている支援内容に基づいて、新規就農者が地域の担い手となれるよう支援していきます。

**次年度以降の普及指導計画への反映状況（又は反映予定）**

農業経営に対する意識やモチベーション等の経営以外の指標も評価に反映させるなど、改善策を取り入れて今後の普及指導活動を進めていきます。